



## 交通バリアフリーニュース



## 第6回 バリアフリー推進四国地域連絡会議を開催

~香川県高松市~

日 時:平成25年3月6日(木)13:30~15:30

場 所: 高松サンポート合同庁舎 13階 1306・1307 会議室

出席 者: 徳島大学大学院 近藤光男教授、

近畿大学理工学部社会環境工学科 柳原崇男講師、

公益財団法人香川県視覚障害者福祉協会、

公益財団法人香川県身体障害者団体連合会、社会福祉法人香川県手をつなぐ育成会、

公益財団法人香川県老人クラブ連合会、四国ろうあ連盟、

社団法人全国脊髄損傷者連合会・香川県支部、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、

四国旅客鉄道株式会社、四国鉄道協会、四国旅客船協会、四国バス協会、

四国ハイタク協議会、四国各県バリアフリー担当者、高松市バリアフリー担当者、

大阪航空局高松空港事務所

四国運輸局と四国地方整備局は、高松サンポート合同庁舎 において、「第6回バリアフリー推進四国地域連絡会議」を 開催しました。

この会議は、関係する施設設置管理者、当事者団体、有識者、行政等が一堂に会し、バリアフリー法に基づく取り組みの現状把握、課題の抽出、先進事例の紹介、対応方策の検討や提案など、バリアフリー化の推進に向け知見の共有を図る



とともに、互いにより良い協力関係を築き、連携してバリアフリー化の一層の進展に寄与すること を目的に開催しています。

会議には32名が出席し、徳島大学大学院の近藤光男教授を座長に、委員の近畿大学理工学部の柳原崇男講師による「地方都市(地方部)におけるバリアフリー化の課題」についての講演、全国



柳原崇男講師の講演

バリアフリーネットワーク会議報告、行政の取り組み報告、徳島県におけるユニバーサルデザイン推進の施策、前年会議の意見要望回答、四国運輸局優良事業者等表彰(福祉タクシーの導入)、意見交換などが行われました。意見交換では、「高松駅構内(特に9番線ホーム)の点字ブロックの配置について、視覚障害者の動線が遠回りになっているように思われるが、理由を教えて欲しい」「ホームドアを早期に設置して欲しい」「視覚障害者に対する公共交通機関の遅延情報提供について、掲示等による対策を

お願いしたい」「公共交通事業者等の社内研修に発達障害者対応を加えてもらいたい」「バリアフリー教室の実施方法を検討して欲しい」などの意見要望が出され、これら意見・要望は今後のバリアフリー施策に反映していくとともに、さらに連携してバリアフリー化の推進を図っていくことが確認されました。

また、会議の冒頭には、福祉タクシーを積極的に導入され、高齢者・障害者等の移動の利便性向上を図られている有限会社ハロータクシーとアトムタクシー有限会社に対し、福祉・バリアフリー対策への多大な貢献が認められ、優良事業者として四国運輸局次長から表彰状の授与が行われました。



有限会社ハロータクシー様への賞状授与



アトムタクシー有限会社様への賞状授与

# バリアフリー教室を開催

### 高知龍馬空港

平成25年3月7日(木)、四国運輸局は、高知龍馬空港(高知県南国市)において「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には、高知龍馬空港利用者促進利便向上協議会構成員や空港関係従業員ら14名が参加。社団法人高知県聴覚障害者協会の講師及び手話通訳者の方から、「聴覚障害の基礎知識と利用者との関わり方」について、講義をしていただきました。教室では手話以外にも、口話・読話、筆談、身振り等のコミュニケーションについて、それぞれに実技を交えて体験を行いました。口話・読話では2人が1組となり、何を話しているかを口の開け方や閉め方に注意を払いながら実際に体験したり、身振りにおいては「エレベーター」などの言葉を、身振りで次の方に順々に伝えていく伝言ゲームなども実施して頂くなど、すばらしい内容の講義でした。講義の最後には参加者が「ありがとうございました」や「拍手」を手話で行い、講師の方々にお礼を申し上げました。

参加者は、講話や実技体験を通して、聴覚に障害のある方への接遇や介助の大切さをあらためて認識していました。今回のバリアフリー教室で、さらなる「心のバリアフリー」の推進に向け、誓いを新たにいたしました。



空港長より挨拶



手 話 体 験



手 話 講 話



身振り伝言体験

#### 松山空港

平成25年3月13日(水)、大阪航空局松山空港事務所と四国運輸局により、松山空港(愛媛県松山市)において「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には、航空会社や警備会社の従業員ら26名が参加。(社)松山市社会福祉協議会の協力のもと、松山市障害者団体連絡協議会の講師からガイドヘルプの心得を学習し、アイマスクを着用してガイドヘルプ体験を実施しました。また、(医)ミネルワ会老人保健施設ミネルワと松山市地域包括支援センター西の講師からは、高齢者や障害者対応の心得を学習し、シニアポーズを着用して高齢者疑似体験を実施しました。

参加者は視覚障害者や高齢者の立場を実際に体験したことによって、接遇に対する重要性をあらためて認識するとともに、講師の方々から介助方法等を学習したことにより、介助についての理解を深め、さらなる「心のバリアフリー」の推進と誰もが自由に移動できる公共交通機関の提供を再認識できたようです。



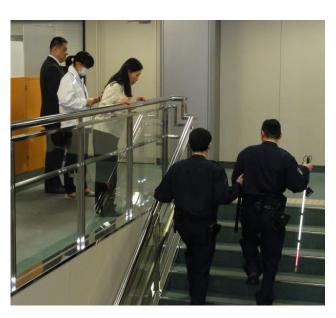
開校式の様子



ガイドヘルプの心得を説明



高齢者疑似 · 介助体験



ガイドヘルプ体験

四国運輸局が開催しておりますバリアフリー教室は、自治体、社会福祉協議会、障害者の 方、公共交通事業者等から、後援・協力をいただき開催しております。

1~3月に開催した教室では次のとおりです。

#### バリアフリー教室

(平成25年3月7日開催・高知龍馬空港)

協 力: 社会福祉法人高知市社会福祉協議会 高知市障害者福祉センター 社団法人高知県聴覚障害者協会

(平成25年3月13日開催・松山空港)

協 力:社団法人松山市社会福祉協議会 松山市ボランティアセンター 松山市障害者団体連絡協議会 松山市地域包括支援センター 西地区 医療法人ミネルワ会 老人保健施設ミネルワ

ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。 バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四 国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお



〒760-0064 香川県高松市朝日新町1-30

電話 087 (825) 1174 FAX 087 (822) 3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



四国運輸局ホームページも是非ご覧ください http://wwwtb.skt.mlit.go.jp/shikoku/

このニュースは、交通バリアフリー関係の話題を中心に、4県自治体のバリアフリー関係担当部 署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。このニュースの配信につきまして、 配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡くだ さい。